

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No.54

2020年
2月10日

〒680-0811 鳥取県鳥取市西品治806(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

「首里城」 雑感

私を導く指針は、琉球王国の魂とウチナンチュウの心意気

沖繩と連帯するとつとりの会 事務局長

平良 忠弘 さん

昨年10月31日に発生した首里城火災は正殿や南殿、北殿などの主要6棟を燃えつくしました。

その日の早朝、時ならぬ電話のベルが鳴り「首里城が燃えている！」と近くに住む友人の悲鳴に近い声。指示通りテレビのスイッチを入れると、真っ赤な炎に包まれて燃え上がる首里城が飛び込んできました。首里城焼失は沖繩のみならず全国にも大きな衝撃を与えました。会う人ごとに火災見舞いの言葉をかけられ、妻は「旦那さんは沖繩に飛んだんでしょ」と友人たちに声をかけられるなど、自分の身近でも思いのほかの関心の高さに驚きました。

城「再建元年」となる2020年の沖繩。激動を予測させる現実を前に人々は改めて沖繩の歴史を首里城のたどった運命に重ねて思いを巡らすことでしょうか。

私にとっての首里城への思いは、戦争史上最も悲惨な極めたといわれる沖繩戦とその後の米軍による占領支配の事実とを切り離すことはできません。15世紀から450年に及ぶ琉球王朝の居城であったこのイメージよりも、首里城のあったその「場所」が大きなウエイトを占めているのです。首里城は今回を含め、これまで5回焼失したといわれています。戦前の首里城は国宝として修復保存されていましたが、沖繩戦では第32軍司令部が置かれたことで首里城とその一帯は米軍の攻撃目標となり首里城は跡形もなく消えま

た。1950年その跡地に琉球大学が開学しました。1952年3月の第一回立法議員選挙で最高当選をした沖繩人民党の瀬長亀次郎さんが、その翌月の「琉球政府創立式典」でただ一人着席したままアメリカ軍への宣誓を拒否したのも、この琉球大学校庭でした。その時の瀬長さんの姿が映画「アメリカが最も恐れた男 その名はカメジロウ」に記録されていて、映画を観た人々の間で話題になりました。

あれから3か月。年も新たに、全国的な支援の広がりの中で再建へ向けての取り組みが始まっています。首里

首里のその高台には沖繩初期のラジオの放送局があり、朝鮮戦争時の50年代初頭に灯火管制の訓練が頻繁におこなわれていて、そのラジオで訓練の様子が実況されました(電灯の明かりが漏れている状況が地域を名指しで放送)。小学校低学年であった私の記憶にも、雨戸を閉め電球を黒い布で覆って声を潜めていた家族の様子が浮かびます。

私が直接その場を訪れたのは琉球大学の入学試験を受けに出かけた時でした。私は、結局琉球大学に入学することなく高校卒業後と同時に岡山へ出て、以後今日まで本土暮らしです。琉大の移転もその跡地への首里城の復元の様子も目の当たりにすることはありませんでした。1992年に復元した首里城を初めて訪れたのはその2年後、二人の息子が高校生と大学生に成長し、入院中の母の見舞いに家族4人で帰郷した折のことでした。

以来、首里城は自分の「内なる沖繩」の一部分として「基地の島沖繩」の思いと併存するようになったのです。首里城に象徴される沖繩の伝統的文化と、辺野古新基地に象徴される野蛮さは相いれませんが、万国津梁(平和のために世界の架け橋に)の琉球王国の魂とイチヤリバチヨウデー(出会う人はみな兄弟)のウチナンチュウの心意気は、私を導く指針です。



首里城公園ホームページより転載

1979年、国連で女性差別撤廃条約が採択され40年余り。その間、我が国では1985年に条約を批准したが、1999年に「憲法に個人の尊厳と法の下の平等がうたわれ、男女平等の実現に向け様々な取組が進められてきたが、なお一層の努力が必要」として男女共同参画社会基本法が制定され、国、自治体、事業所等で、その取組が実施されてきた。

憲法の上に日米地位協定!?

まえどまりひろもり

前泊博盛さん

沖繩国際大学大学院教授、前琉球新報論説委員長、沖繩問題を通じ、日本と世界の政治を深く解明する第一線のジャーナリストであり、教壇に立ちみならずとも考える研究者。『日米地位協定入門』、『もっと知りたい! 本当の沖繩』、『外務省機密文書 日米地位協定の考え方』など著書多数。

沖繩と連帯するとつとりの会結成3周年記念講演

2月29日(土)午後2時~
米子市ふれあいの里
1階ホール ☎0859-23-5491

3月1日(日)午前10時~
鳥取市さざんか会館
5階大会議室 ☎0857-20-3191

開催協力費 500円(両会場共済)

日本の主権と国民の権利を踏みにじる日米地位協定。全国知事会も、その抜本改定を要求しています。地方議会では、8道府県183市町村で抜本改定を求める意見書を採択。鳥取県内でも、南部町、琴浦町、北条町で採択されています。

主催: 沖繩と連帯するとつとりの会/連絡先: 090-5266-8348(平良)/090-9068-9044(田村)

「沖繩と連帯するとつとりの会」は、結成3周年記念企画として、前泊博盛氏の講演会を行います。多くのみなさまのご来場をお待ちしています。

日本で特に順位が低いのは政治や経済の分野であるが、政治が変われば改善も少なく、1999年の10.1%から20年で6ポイント増えたのみ。このままだと目標の30%達成に40年以上かかる。国立大学協会の調査(2019年5月)報告によると加盟全86大学では2010年の12.7%から17.1%への増加だが、倍増の大学もある。文部科学省のダイバニシヤティブ事業の実施大学(年10機関程度選定)である。やる気があればできるのである。(山縣)

境港で

「平和のための戦争展」

去る11月23日・24日の両日、第6回境港市平和のための戦争展を、しおさい会館にて行いました。両日とも午前10時から午後5時までの開催で、300名以上の方々に来ていただきました。

今年のメインは23日に語り部のコーナー、24日に小山富見男氏による満蒙開拓団の講演を行いました。また、展示のコーナーでは、中国と朝鮮半島の歴史と現在の日韓問題までの展示、渡小学校と境小学校の皆さんの平

和学習の展示の2つを、特別展示として紹介しました。この他にも、玉栄丸事件などたくさんの方の展示や紹介をし、さらに、両日ともバザーでにぎわいました。戦後74年を経過し、戦争の記憶が風化しつつあります。しかし、世界中で戦火が絶えることはありません。新しい令和の時代も、戦争のない日本であって欲しいとの思いは国民共通の願いでしょう。美保基地では、輸送機や空中給油機の配備が進み、軍事化が進んでいます。今後も平和を祈念する「平和のための戦争展」を続けていきたいと思

（境港革新懇 田中文也）



展示資料を見る来場者 11月23日 境港市しおさい会館

公立・公的病院の統廃合問題で集会



活発な意見が交わされた集会 1月13日 米子コンベンションセンター

昨年9月に厚生労働省が公表した424の公立・公的病院の再編・統合を促すリスト問題で、鳥取県社会保障推進協議会と鳥取県医労連などの呼びかけで「地域医療と公立・公的病院を守る鳥取県連絡会」（準備会）が12月に

約70人が集まりました。集会では、日本医療労働組合連合会（日本医労連）中央執行委員の瀧川聡さんが、「病院の再編・統合でどうなる？地域医療」と題して基調講演。鳥取県医労連の村口洋生副委員長が、昨年秋に実施した自治体キヤラバンでの当該自治体や病院管理者などの懇談について報告した後、利用者や地元住民、医療関係者が、自らの体験も交えながら、名指しされた病院の役割や必要性、地域医療のあり方などについて意見交換しました。

瀧川氏は講演で、424病院が名指しされて「再検証」を求められたが、対象病院は、ほとんどが地域の

中小病院であることを指摘。「再検証」に係わる二つの基準と、「再検証」要請の7つの問題点について具体的事例を挙げながら、地方自治や地域主権と真逆の政府のやり方を批判しました。そのうえで、地域の実情を無視した再編・統合リストの撤回と、地域医療を守る運動を広げようと呼びかけました。

集会の最後に主催者より、「再検証」要請の白紙撤回と地域医療の拡充を求める署名に取り組みすること、名指しされた病院の地元を中心に、住民運動に取り組む組織づくりをすすめることが提起されました。

（鳥取県医労連 田中 暁）

米子・鳥取で 県内初のフラワーデモ

1月11日土曜日、米子コンベンションセンター前と、鳥取駅北口の2か所で性暴力反対を訴えるフラワーデモが、有志の呼びかけで開催されました。

フラワーデモは、2019年3月から相次いだ4件の性暴力に対する無罪判決に納得できないと、作家の北原みのりさんやエトセトラブックス社長の松尾亜紀子さんらの呼びかけで4月11日、東京で開催されたフラワーデモが発端です。その後、一気に全国に連帯の輪が広がり、鳥取県でも初のフラワーデモが開催されました。4件の判例はネット上で紹介されていますので、そちらをぜひ参照いただきたいのですが、鳥取の集会では鳥取からの告発例が紹介されました。「実の母が亡くなった後、実父による性暴力

裁判例もこの鳥取の方も、被害者ばかりが苦しんでいることがわかります。大声で叫んで抵抗しなければ、女性もその気があったのだらうという思い込みに縛られていて、被害者への思いやりが欠けているのが日本の司法界です。米子集会に35人、鳥取集会に45人が集まり、男性の参加もあり、「あなたの苦しみを、よくわかるよ」と連帯の気持ち広がるとフラワーデモでした。2月11日、3月8日にも予定されています。

（新日本婦人の会県本部 事務局長 田村真弓）



米子コンベンションセンター前



鳥取駅北口